

市川市の90年

本市の誕生から現在までの90年を、街並みの変遷などを
中心に振り返りました。
これまでの歩みをステップに、更なる飛躍の一步を、今年
の干支「辰」のように、力強く未来へ踏み出します。
(広報広聴課)

2023(令和5)年 未来につながる施策をスタート

- 子どもたちの未来は、市川市の未来
- 市立学校の給食費を無償化
 - 子ども医療費助成の対象を高校生相当年齢まで拡大
 - 第2子以降の保育料を無償化
- 「誰一人取り残さないまち」に関すること
- ゴールドシニア75+事業の実施
 - 「健康寿命日本一」に向けての取り組み

2021(令和3)年 第1庁舎供用開始



2015・2016(平成27・28)年

市川市道ネーミングライツ
パートナー契約により
「アーセナル通り」
(2019年4月に「ガナーズ通り」に
リニューアル)
「ニッケコルトンプラザ通り」
「アーデル通り」が誕生

2024 (令和6)年 11月3日 90周年記念式典



これからどんな
わくわくが
待っているかな

市川市はこれからも未来に向けて
ステップアップにつながる施策に取り組みます

市の文化や自然を生かした魅力あふれる施設や、利便性を高める道路などが続々オープンしました



**1934
(昭和9)年**
11月3日 市川市が誕生
県内では、千葉市・銚子市に次ぐ
3番目の市。当時の人口は4万人あまり



▲第18回大会の様子 1968(昭和43)年

紅白歌合戦と同時年
1951(昭和26)年
**第1回
元旦マラソン大会開催**



▲創刊号1951(昭和26)年12月15日発行

**1951
(昭和26)年**
「市川市広報」創刊



▲開園当時の様子

**1987
(昭和62)年**
動植物園開園



▲埋立造成中の様子 1966(昭和41)年

**1959~1975
(昭和34~50)年ごろ**
合併した行徳・南行徳地域の
海面を埋め立て、工場を誘致

**2004
(平成16)年**
**「健康都市いちかわ」
宣言**

**1958
(昭和33)年**
**里見公園が
市立公園として開園**



▲1964(昭和39)年ごろの里見公園の様子

**1938~42
(昭和13~17)年ごろ**
本市初の都市計画により、
現在の街並みの基礎ができる
商業地域:市川駅・国府台駅・本八幡駅付近
工業地域:総武線南側など
住居地域:現在の国道14号線以北など
風致地区:国府台周辺、葛飾八幡宮周辺、
法華経寺周辺



▲西消防署望楼より江戸川方面を望む
1964~65(昭和39~40)年ごろ

**1947~1950
(昭和22~25)年ごろ**
現在の国府台の景観の基礎ができる
国府台軍用地の跡地に、文化都市を目指して
学校施設や病院、研究機関を誘致
国府台運動公園を開設



▲変貌を遂げた国府台周辺 1981(昭和56)年

